

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医学)甲第 1266 号	氏名	Rajabali Zadeh Vahid
学位審査委員		主査	南保 明日香 教授
		副査	森田 公一 教授
		副査	児玉 年央 教授
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、これまで未知であった、新世界アレナウイルスに属するフニンウイルス (JUNV) の粒子形成に対する抗ウイルス因子BST-2の影響とその役割について検証を行ったものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 JUNV マトリクスタンパク質発現が誘導するウイルス様粒子の形成、ならびに JUNV ワクチン株を用いた感染性ウイルスの産生という2つの独立した実験系を用いて、BST-2の役割を評価したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、BST-2がウイルス様粒子形成およびウイルス増殖を抑制することが明らかになった。その一方で、JUNVがBST-2の機能に拮抗すること、そして、このプロセスに関わる責任遺伝子として、JUNVがコードする核タンパク質 NP が関与する可能性が示されたことから、今後の新世界アレナウイルス研究への貢献が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は新世界アレナウイルス研究の進展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			